

第2回小郡市幼児施設審議会 会議要約

日時	平成 27 年 10 月 19 日（月） 10：00～11：55
場所	小郡市人権教育啓発センター1階 大集会室
出席者	<p><委員></p> <p>会長：永水委員、副会長：大隅委員</p> <p>委員：安部委員、石川委員、田箆委員、廣瀬委員、大石委員、井手委員、久保山委員、児島委員、安本委員</p> <p><事務局職員> 鮫島保健福祉部長、伊東子育て支援課長、野田子育て支援係長、成富子育て支援係員</p> <p><関係課等職員> 佐藤教育部長、山下教務課長、白石教務係長、大塚教務係員</p> <p><市立幼稚園保護者代表> 小郡幼稚園保護者 2 名、三国幼稚園保護者 2 名</p> <p><傍聴者> 無し</p>
資料	<p>○第2回 小郡市幼児施設審議会会議次第</p> <p>○資料3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立幼稚園運営費の推移 ・小学校区別未就学児数グラフ（3歳～5歳）今後の推移 ・今後の大規模住宅開発における人口増加予想 ・小郡市内幼児施設位置図 ・保育所（園）・幼稚園・認定こども園について <p>○第1回審議会会議要約</p> <p>○三国幼稚園保護者作成資料</p>
会議内容	
1 開会	<p>第1回審議会の内容確認と、今回出席の小郡市立小郡幼稚園・三国幼稚園在園児保護者代表の紹介</p>
2 公立幼稚園在園児保護者の意見聴取について	<p>小郡市立小郡・三国幼稚園各2名ずつの意見聴取</p> <p>小郡幼稚園保護者（2名）：小郡幼稚園は広い園庭があり、のびのびと遊びを通じて仲間づくりを行っている。保護者の多くは3歳児からの保育を望んでいる。3歳児は活動が活発で親だけでは手一杯で、1年間を待てなく私立幼稚園へ行く。保護者は、園児減少により廃園の不安を感じており、現状の幼稚園のまま、3年間の保育を希望している。のびのび遊べる広い園庭は他園にない魅力。私立幼稚園で行なわれている英語教育のような教育は、小学校入学後からで充分で、幼稚園の時期は自然の中で遊ぶことを大事にして欲しい。通園バスが無いが、登降園時に他の保護者との交流や先生との話が出る。保護者会役員も大変だが、園での子どもの様子が分かり、満足している。</p> <p>三国幼稚園保護者（2名）：（園の保護者へのアンケート結果を配布し説明）保護者としてはベテランの先生方がしっかりと子どもたちを見ていて、多くのアドバイスをもらいながら子育て</p>

てをしている。配布資料から、三国幼稚園を希望した理由の1番は「方針・内容」で、1つ1つの行事等にも子育ての目標を持って指導し、保護者に知らせることや、過保護にせず、指導しているなどが挙げられた。小郡市には、公立・私立の幼稚園、公立・私立の保育所があり選べる環境がよい。園児減少により「公立幼稚園のあり方」を考えるのではなく、公私の幼保があることで子育て施設が充実している小郡市であることを意識して欲しい。以前からの要望である延長保育・3年保育は全保護者の総意のものである。

会長：公立2園の保護者の意見聴取後、委員に質問を求める。

委員：放課後の預かり保育とは？

保護者：降園が2時40分なので、もう少し延ばして欲しい。保護者の要望。

委員：3年保育の要望はいつから？

保護者：要望は、5年前には行なっていた。

委員：5年前からかわらないのであれば、事務局の取りかかりが遅いのでは？

事務局：要望が出ているのは認識していた。前回（平成10年）の宝城幼稚園のときも1クラスになってから審議会で検討していたので、今回の審議会を開催し検討をお願いしている。

会長：委員の意見も分かるが、この審議会に「公立幼稚園の今後のあり方」を任されたので、現在審議し、検討している。次に「審議」に入る。

委員：説明を聞く前に、公立2園を存続することのためのマイナス要件をつぶしていくことを考えて審議していけば、時間のロスが少ないのではないかと。

委員：前回の質問の説明を受け、その後、話し合いでいい。

会長：考えはいろいろあるが、前回の質問についての説明なので、考え方を決める前に予定通り説明を受けていいか。

—異議無し—

3 審議

事務局からの資料（資料3）説明後、意見を求める。

会長：公立幼稚園を存続するときのマイナス面を考えていくことで審議していいか

—異議無し—

委員：前回の資料で、私立幼稚園は定員以上の入園時を受け入れているが、これでいいのか。定員の制約とは無いか。

事務局：法的なものについては、調査後次回回答。

委員：公立は保育料が安いことが魅力。私立は2～3万円、別途制服代・入園料等を払っている。ニーズ調査の結果で公立幼稚園が3年保育なら今後の利用希望者が2.5倍いる。

会長：公立幼稚園に魅力があるのは分かったが、ではなぜ、入園児が減るのか。

委員：保護者の1番の要望は3年保育と聞いている。3年保育の受入体制を充実していないと私立に流れる。

委員：マイナス要因として、「通園バス・3年保育・運営費・定員・職員の構成・保育（教育）の内容」が私には考えられる。

委員：私は公立園の中に居るが、「定員・職員の構成・保育（教育）の内容」は何故マイナス要因なのか。担任+αの職員配置、4歳児では担任+加配2名（配慮の必要な子に対して）の

配置をしている。

委員：私は保育園なので、「保育（教育）の内容」もあるのかと思言った。「職員の年齢構成」については、どうか。

委員：小郡幼稚園の担任は、1年目・3年目・10年目くらいと加配の40代くらいの職員が各1名ずつ。昔と違い、若くなっている。

委員：三国幼稚園の担任は、6年目・12年目と加配の50歳前くらいの職員が各1名ずつ。

委員：「定員」というのは。

委員：保育所では、園児数が減っていくなら定員を減らすので、マイナス面かなと思う。

委員：今はマイナス面を考えているが、公立幼稚園の教育はすばらしいと言っている。園の運営費の面からの公立のよさとは。保育料が安いことへの市民周知は。

委員：実質的な保護者負担額につき、市民には情報が広まっていないがどうか。例えば三井幼稚園と比較した場合はどうか。

事務局：保護者の実質的な負担額について、具体的なモデルとして、入園年度、1人目就園で市民税所得割211,200円以下の世帯の場合、公立幼稚園では年額78,200円、三井幼稚園では193,800円となる。また、同条件で市民税所得割非課税世帯の場合、公立幼稚園では年額35,200円、三井幼稚園では140,800円となる。また、小学3年生までの範囲内に兄弟を有する世帯だと、さらに負担額は軽減され、二人以上兄弟を有する場合は税額に関らず年間の負担額は0円となる。しかし、補助・減免の対象は入園料、授業料部分なので、その他施設費等については別途負担することとなる。

事務局：今後の運営で、現状の金額を超えて運営をしていくということは現在のところ考えていない。

事務局：通園バスの計画は今までは考えていない。市の考えは、この審議会での意見を受けて考えていく。

委員：私立幼稚園では、通園バスの費用は保護者負担になる。

委員：市がバスを購入し、バスの運営費は保護者負担にすれば解決するのでは。

委員：保護者もバスを希望するが、公立幼稚園としては常に顔が見える関係がよい。現状は、不安なことも直ぐに園に聞ける関係を持ったままがよい。数百人の定員ならバスの運行も可能かもしれないが、現状の園児数では。それよりまず3年保育を行ったほうがよい。

会長：保護者としては、公立の保育料が一番の魅力では。

委員：保護者が3年保育を望んでいることが大切。2時40分降園なら就労しにくい。

委員：幼稚園は教育時間が決まっている。小郡幼稚園は保護者と一緒に3時30分までは園庭で遊べることにしている。

委員：地域代表として参加しているが、地元の公民館で支援センター事業が開催されるとき、多くの親子が集まる。幼稚園が3年保育になればこの子達も多くの仲間と触れ合い見守られるのでは。小郡幼稚園の園庭の広さは目を見張るものがある。

委員：私も地域代表。子育てをした母親の意見だが、私の子どもが小さい頃には、まだ三国幼稚園は無く、他市の私立幼稚園に入れた。公立があれば安い保育料は魅力だろう。3年保育になれば、就労しやすいのでは。

会長：幼稚園と保育所は違う。今回は幼稚園を審議している。3年保育にしたら、入園児が増えるのか、考えて行かねばなら無い。

委員：三国校区に在住している。公立幼稚園のよさは、小学校との連携、これからの子どもたちをしっかりと中心にした教育をしていること。こんな大切な公立幼稚園をどのようにして続けていくのか。市外の幼稚園にいく子どもも多い。アンケート結果では、3歳からの就労希望が多かったので、認定こども園ではどうなのか。

事務局：認定こども園では、施設の改修等が必要になる。市としては、現予算額内での運営を考えている。

会長：いろいろ意見は出たが、今後の審議のあり方として、「公立幼稚園を存続する」と考えて審議を行う。これから、どうすれば存続できるのかを考えていくことでいいか。

— 全員賛成により議決—

「公立幼稚園を存続させる」

4 その他

事務局から第3回審議会（平成27年11月30日（月）午前10時開会）を説明し、追加資料について意見を求める。

委員：今年4月から国の制度が変わっている。国が公立幼稚園や公立保育所を、今後認定こども園にしたいのかどうしたいのか、確認して欲しい。

委員：福岡県内の他自治体の公立幼稚園の現状を知りたい。

5 閉会のあいさつ